

無断転載禁止

令和7年2月3日

# 湿害対策と播種効率に優れる ディスク式高速一工程播種

農研機構 本部事業開発部  
地域連携課長 竹内 徹

NARO

# 播種技術の概要

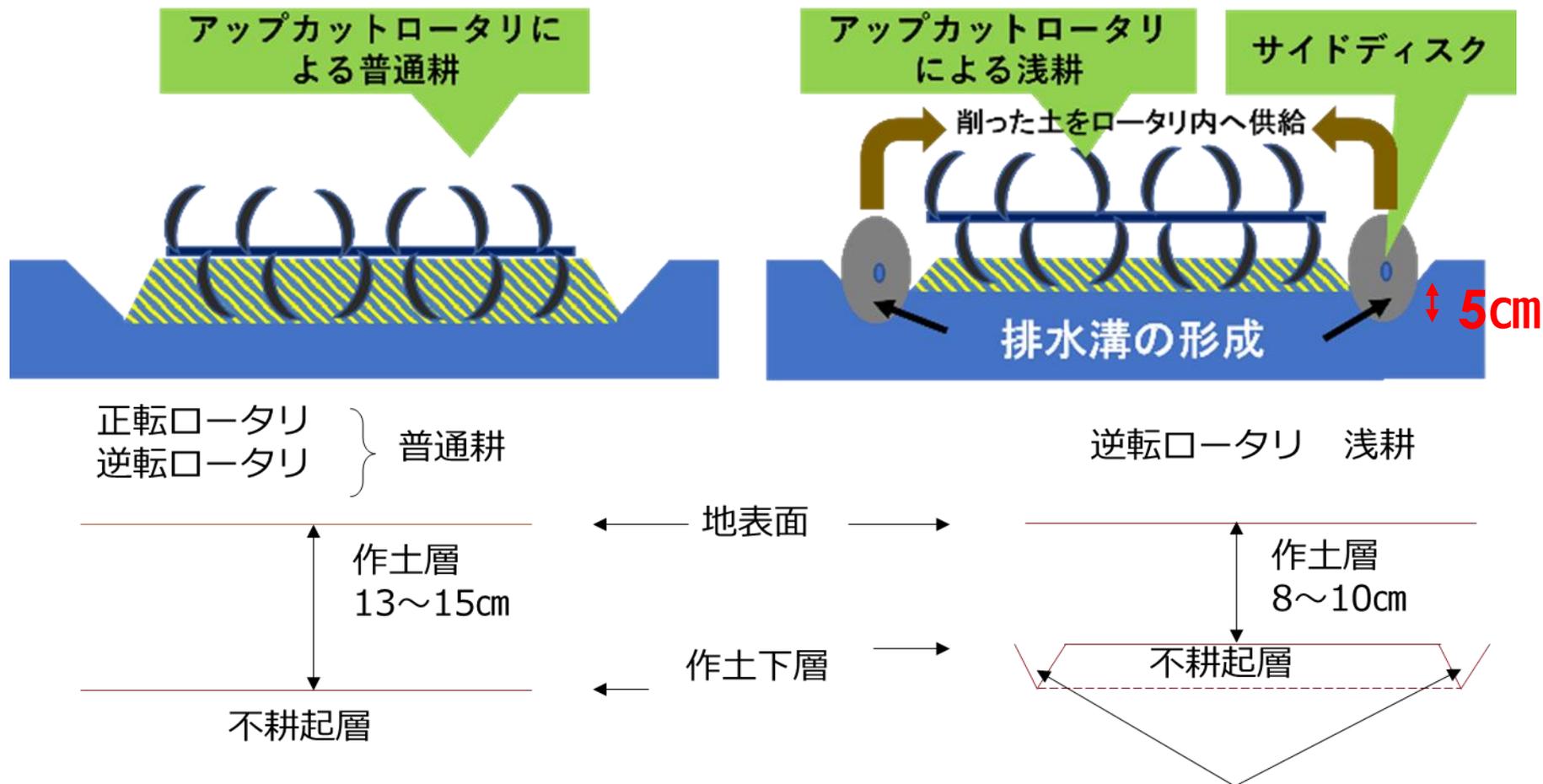


サイドディスクを取り付けるだけのシンプルな構造

- ①アップカッターロータリ → 高能率な作業  
(麦稈のすき込み・碎土性)
- ②サイドディスク → 排水溝形成・土寄せ
- ③一工程浅耕 → 作業の省力・高速化

事前耕起なしで1回の作業で播種作業を完了できる播種法を開発しました

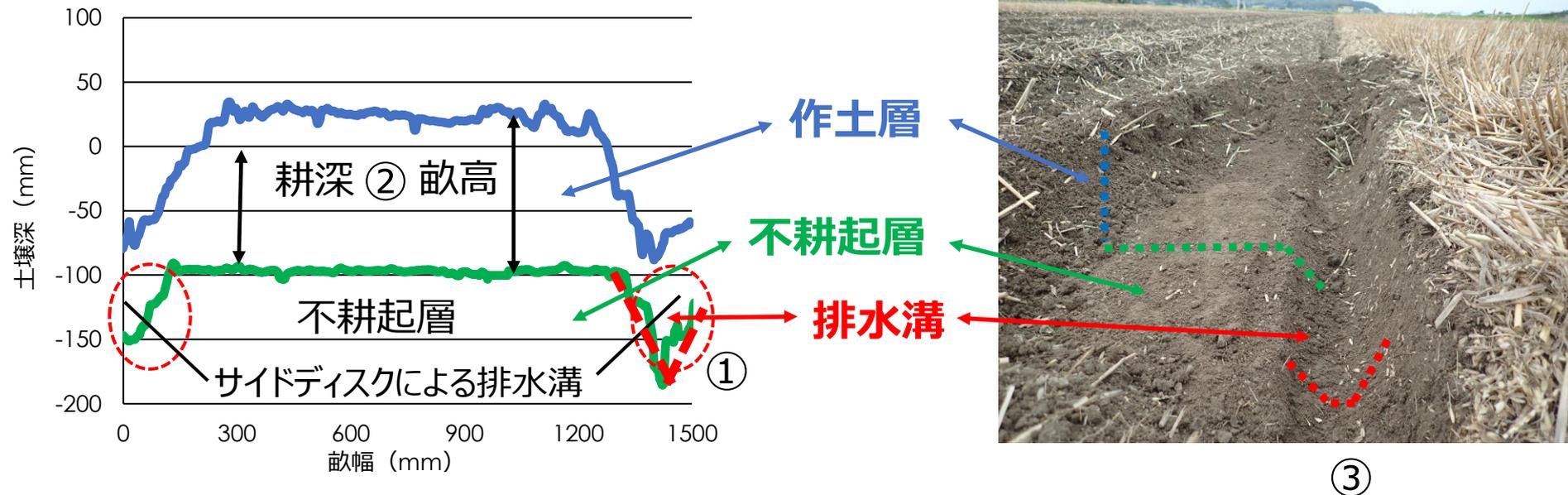
# 浅耕播種と同時に排水溝を作る



ロータリの爪より5cm程度深くなるようにサイドディスクを配置するのがポイント

排水溝

# サイドディスクで排水溝を作る



- ① サイドディスクによって畝の両側の土が削られ溝が形成される
- ② この時削られた土がロータリ内へ供給されるため均一な播種床が形成される

- ③ この溝が排水溝となり、降雨後に地表面に溜まった余剰水が速やかに排水される



## 普通耕播種



## 浅耕播種

- ・ロータリ側板に作溝と土寄せを兼ねた**サイドディスク**を取り付けます。
- ・浅耕播種では**ロータリ側板と地表面の隙間が大きく**、外から見るとロータリ爪が空転しているように見えます。

# 播種技術の効果

## 大雨前（8月7日）

主茎節数：4.1  
主茎長：16.4cm

主茎節数：4.0  
主茎長：16.0cm



開発技術

生産者慣行

大雨前は生育量に大きな差はありません